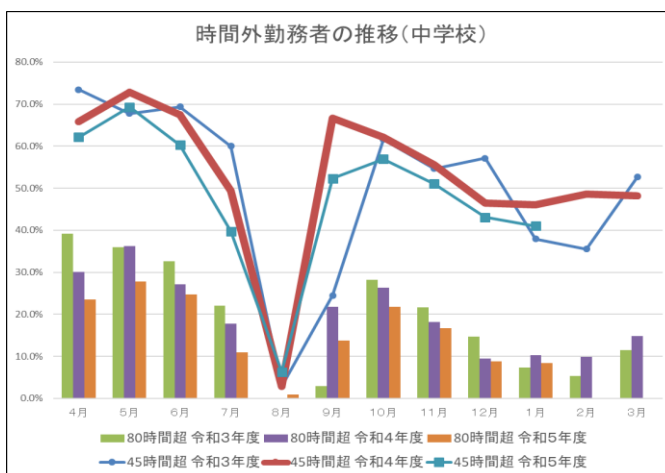
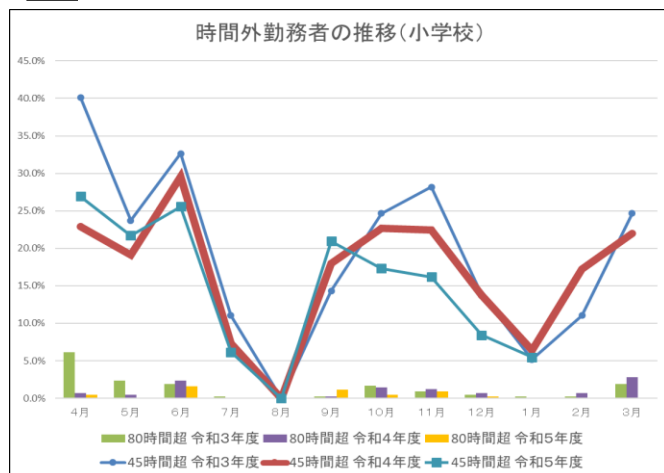


現行プランⅡ（令和3年度～令和5年度）の取組内容の報告

- ▶ スクール・サポート・スタッフの全校配置
- ▶ 給食会計の公会計化
- ▶ ICT導入による、印刷業務や採点業務の軽減
- ▶ 給食室等の冷暖房設備の設置
- ▶ 校務支援システムによる、出欠席管理や成績処理等の事務効率化
- ▶ 市費による人的支援の拡充（学級介助員、非常勤講師、スクールソーシャルワーカー）等

数値で見る環境の変化

- ▶ 令和3年度からの長時間勤務者割合です。45時間以上、80時間以上ともに減少しています。



- ▶ 令和2年からの年次休暇の取得日数です。1人当りの取得日数で比較しても増えています。

(小学校)

	取得人数	取得日	1人当り 取得日数
令和2年	314人	3369日	10.7日
令和3年	322人	4597日	14.3日
令和4年	312人	5121日	16.4日
令和5年	350人	5825日	16.6日

(中学校)

	取得人数	取得日	1人当り 取得日数
令和2年	173人	1550日	9.0日
令和3年	161人	1543日	9.6日
令和4年	183人	1765日	9.6日
令和5年	176人	2325日	13.2日

編集後記

今回の安全衛生通信では、この6年間の職場環境改善の取組を紹介しました。長時間勤務や休暇の取得状況は改善しており、数字で把握できるところは達成できたと評価できますが、令和4年度に実施した「プランⅡの事業実施効果アンケート」では、授業準備等のために持ち帰り業務が常態化していることが明らかになりました。自宅での業務、部活動に対する負担、そして、ICT使用頻度をはじめとした個々の意識の格差が課題として残っています。

令和6年度予算では、ICT支援員やスクールソーシャルワーカーの増員、プール・ロスナイ清掃などを計上しており、令和5年度にはスクールロイヤーの採用試験を実施し、新年度内での配置を目指しています。このほか、学校訪問産業医やメンタルヘルスチェックの継続、健康診断項目の見直しを検討しています。

今後も学校状況を適宜捉えながら必要に応じた体制を整えていくよう、教職員・教育委員会と共に取り組んでまいります。

各学校での衛生懇談会を活用し、課題の解消に向けた取組を実現しましょう！また、紹介したい活動や職場環境改善について提案等のある方は、こちらのQRコードを読み取り、送信をお願いします。

